

社会教育委員会議の今後の見通しについて

1 第35期のゴール

(1) 建議

- ・教育委員に建議を渡す。(3月)
- ※目次や分担等の詳細は10月に提案予定

(2) ワークショップ

- ・各グループの調査・研究活動の報告と提言をし、それについて参加者から意見をもらう。
- ・ワークショップの参加者は、教育委員会、社会教育施設職員、今まで社会教育委員会でお話して下さった方など、今回の調査・研究にかかわりのある人。
- ※詳しい参加者は今後検討して決める。

【第6回会議で話し合われた内容】

Aグループ「こどもや若者の参画を促すネットワーク」

- ・既存の施設を活用して、そこに中学生や高校生がスタッフとして活動する仕組みづくりをする。内容は、主に中学生や高校生が小学生に勉強を教えたり一緒に遊んだりする。それが、小学生の居場所となるとともに、中学・高校性のキャリア教育のよい機会になる。
- ・既存の施設を少し変化させることで子どもの居場所をつる。
- ・実際に学校等の社会施設を活用して実践してみたい。

Bグループ「共生社会の実現に向けた学びの在り方と取組のネットワーク」

- ・障がい者や外国籍の人に対して社会教育の大切な情報が届いていない現状がある。しっかりと伝わるように情報がまとまってつながる仕組みがあるとよい。
- ・教育ビジョンに、障がい者や外国籍の人などのマイノリティに対しての生涯学習の内容を具体的に入れる必要がある。
- ・新潟市は、様々な立場の人たちに対して、取組の実態を把握し、評価・マネジメントする課が必要である。

2 胎内の発表について

○発表テーマ「社会的包摂の実現に向けた社会教育の在り方の検討」

(1) 新潟市社会教育委員会議の取組（活動の実際）

- ・全体のテーマ「社会的包摂の実現に向けた社会教育の在り方」を受けて2グループに分かれ、それぞれのテーマについて調査研究を進めている。
- ・Aグループ「こどもや若者の参画を促すネットワーク」（発表者：角野委員）
- ・Bグループ「共生社会の実現に向けた学びの在り方と取組のネットワーク」（発表者：司山委員）

- (2) 各グループの調査・研究活動の実際とその中で見えてきた現状や課題に対する意見の発表（提言）

3 今後の見通し

	会議	内容
7月中旬まで		事務局で胎内大会の発表項目（パワポ）振り分け 昨年度の活動記録写真の提供
7月20日	第7回	今後の見通しと胎内の発表について意見交換 各グループで胎内の発表についての話し合い (内容・分担)
8～9月		建議目次を事務局・議長・副議長で検討→目次項目確定
10月上旬予定	第8回	胎内の発表の確認と修正（10/18より前に設定） 建議の内容と分担について
11月		建議原稿完成
12月		建議原稿確認
1月ごろ	第9回	建議原稿確認 ワークショップの内容と分担について →ワークショップの参加対象者確定
1月～2月		事務局でワークショップ参加者募集
3月ごろ	第10回	ワークショップ（発表録画含む）